

2015 2/24

No.1989

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



朝から晴れ上がった6日、雪化粧をした丹沢の山々が姿を現し、震生湖周辺（秦野市）の丘陵地から見渡すことができた。午前7時すぎの気温が氷点下2度と冷え込み、5日の降雪が残って山肌を白く染めた。



## contents

<b>視点・点描</b>	3
神谷バーで風刺画を語る	
<b>講演録</b>	4
「小さな旅して～人との出会いと発見」 フリーアナウンサー、元NHKアナウンサー 国井 雅比古	
<b>政治</b>	8
国際連携「非軍事で」57% 邦人救出の自衛隊派遣は否定的	
<b>国際</b>	10
ミナッツ、青瓦台に通じるもの 韓国が抱えるガバナンス問題	
<b>政治</b>	12
原発再稼働で地域に亀裂 立地自治体と周辺が対立	
<b>くらし2015</b>	14
脳梗塞のステント治療	
<b>広告珍談</b>	16
うまい物もろもろ⑧ なんの数だろう？	
<b>NNAアジア経済レポート</b>	17
<b>神奈川景気データファイル</b>	18
<b>神奈川景気データファイル</b>	19

### 事務局だより

#### ◇横浜定例講演会

2015年3月11日（水）

富士ゼロックス神奈川株式会社と共催

ホテル、ニューグランド「レインボーボールルーム」

▽基調講演 15時30分～16時30分。講師はクラウドワークス代表取締役社長の吉田浩一郎氏、演題は「企業のあり方を変える“クラウドソーシング”」

▽特別講演 16時40分～17時40分。講師はサッカー解説者の中西哲生氏、演題は「キャプテンマークをつける意味～チームに与える影響力～」

▽懇親会「神奈川情報交流会」17時50分～19時30分、「ペリー来航の間」

# 視点 点描



## 神谷バーで風刺画を語る

けるかもしれない。この店に共通の仲間が集い、友人も毎年、訪れるのを楽しみにしている。

口当たりのよいデンキブランが進み、近況報告が一段落したところで友人に聞いた。フランスの週刊紙「シャルリエブド」の風刺画をどう思うか。銃撃事件後のフロント面に掲載したものだ。預言者ムハンマドを描いたとされる。友人はイスラム社会に溶け込むため厳格に教えを守ってきた。

世界最大のイスラム教徒人口を抱える国。20年ほど前、友人の礼拝に付き合いジャカルタのモスクを訪ね歩いた。地元の人々とともに真剣に祈る友人の姿に驚いた。

その昔、新宿歌舞伎町やゴールデン街を一緒に飲み歩いた思い出とは様変わりだ。なぜ男女が別々の部屋で礼拝するのか、女性のベール着用は個人の判断に任せればい

いのではないか。そんな素朴な問いかけは、「教えを守ることが大切」と一蹴された。

風刺画への答えは「聖職者は問題だと言うだろうが、自分や家族や親戚はこのくらいなら許すだろうな」だった。ムハンマドを影として描くような漫画は時折、見かけるといふ。イスラム教徒にも多様な受け止め方があるようだ。「銃撃事件は風刺画への反発というより政治の問題では。貧困や格差を解決しなければ」と。

友人とはジャカルタのスラムも歩いた。汚水の流れる川沿いに粗末な家が延々と続いていた。1998年には貧しい人々の反乱、ジャカルタ暴動もあった。「これから」の話しもしたはず。デンキブランが回り覚えていないが。

(神奈川新聞社編集局次長

小野 明男)

酒を飲まない、豚肉を食べない

友人と東京・浅草の神谷バーで会った。イスラム教に入信して30年の日本人である。名物のカクテル「デンキブラン」を、一緒に味わうことはできない。ちよつと残念。酔客でこったがえす店内、ウロン茶で付き合ってくれた。

友人はインドネシアのジャカルタに住む。日系企業に勤め、ダムや空港建設の現地事務所であつて

きた。インドネシア人の奥さん、

大学を卒業したての長女やネコたちと一戸建てに暮らす。年に1度の長期休暇があり、東京・新宿区内の実家に里帰りする。

1月の土曜日、外はまだ明るいのに神谷バーは満員だった。地元のおじさん、おばさん、全国からの観光客、中国人の団体客と多彩な顔ぶれだ。イスラム教徒をバーに誘うとは。そんなおしかりを受

# なんの数だろう？

77 (明治10) 年9月、

東京に発生。全国で6817人

京都・東福寺に避病院設置。鴨

川・高瀬川の飲水禁止になる

79 (明治12) 年6月、

全国で10万1千余人

京都・祇園祭は延期される

79 (明治12) 年7月、

大阪で寄席など興業は禁止さる

82 (明治15) 年5月、

東京で5076人

86 (明治19) 年7月、

大阪で発生。東京で9879、

京都で1096人

90 (明治23) 年6月、

長崎で発生。東京で2800人

94 (明治27) 年6月、

全国で3万9000人

95 (明治28) 年6月、

全国で2597人

22 (大正11) 年10月、

東京魚河岸、5日間休業になる

62 (昭和37) 年7月、

台湾で発生。バナナの輸入禁止

これは法定伝染病「コレラ」に

よる死者数である。コレラは中国

南部やインドに発生が多く、東南

アジアにも流行。日本には182

2 (文政5) 年8月、初めて侵入

した。突然のはげしい嘔吐と下痢

をとめない、皮膚は冷たく、弾力

を失い、コレラ顔とやらになる。

コロリと死ぬので人びとは、「コ

ロリ」と呼んで、恐怖につつまれた。

なかでも79 (明治12) 年6月、

全国で16万人以上の患者、うち10

万1千余人も死亡した。さまざま

な流言がとびかい、ある地方では

「コレラ患者だというて、無理に

避病院 (隔離病院のこと) に入れ

## コレラ流行の際

罐詰は……高度の加熱殺菌した  
る最も安全なる食品なり  
洋酒は……悪疫豫防の爲め最も  
緊要なる飲料なり

### 東京洋酒罐詰同業組合

## コレラは口より入る

明治屋の罐詰は絶対安全なり  
其他ソーセイジ(肉腸詰料理)及びハム  
市内外に多少に不潔配達

銀座 明治屋

日間休業した、22

(大正11) 年10月

に掲載された。右

は「コレラ流行の

際 缶詰は高度

に加熱殺菌した

る最も安全なる

食品なり。洋酒は

悪疫予防の爲め

最も緊要なる飲

料なり」と、広告

主は東京洋酒缶

詰同業組合。コレ

ラにおよそ洋酒

は関係ないと思

うけど。左は「コ

ろのは、その実、患者のいき胆を

取るためなり。その証拠には、病

院に入れたら最後、親兄弟にも面

会させず、死体は遺族のものにも

伝染を恐れるという口実で、皆焼

き尽くすのだ」と、ささやいてい

たという。

この広告は、東京の魚河岸が5

朝日新聞掲載

とは、なつかしい用語である。

(肉腸詰料理) 及びハム。腸詰め

(美術エッセイスト、茅ヶ崎市在住)

(図) 明治屋の缶詰の新聞広告・

1922 (大正11) 年10月8日、